

博多

小倉

旅の思い出

別府

九州は故郷

九州

大分工業高校の

郷愁を覚える

大分と福岡は隣接している

いつもは神戸港、別府港

今回は神戸港、新門司港

第5回目(?)の同窓会

昭和37年機械科卒

博多・サンパレスホテルであった



関西と九州を結ぶ、快適な船の旅



2016.06.03

神戸港

2016.06.02

神戸港

神戸六甲アイランド



やまと [進水日] 2002年12月4日
[祝航開始日] 2003年3月27日

乗船日 年 月 日

総トン数 13,353ト	旅客定員 667名
全長 195.0m	トラック 229台
全幅 26.4m	乗用車 138台
航海速度 約23.5ノット	





神戸港 と 六甲山系



阪九フェリー 神戸乗船場



阪九フェリー 神戸乗船場

つくし

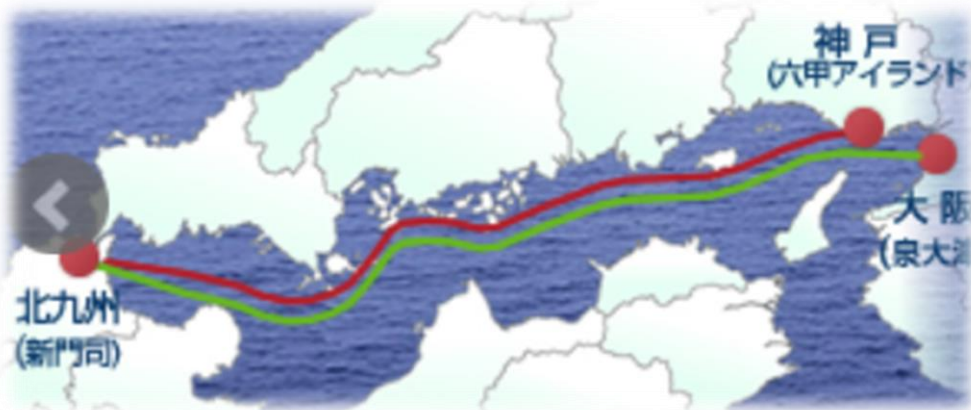
【進水日】2003年2月20日
【就航開始日】2003年6月12日

乗船日		年	月	日
総トン数	13,353 ^ト	航海速力	約23.5ノット	
全長	195.0 ^m	旅客定員	687名	
全幅	26.4 ^m	トラック	229台	
		乗用車	138台	



神戸 御影のあたり

新門司港



6月2日(水)

神戸港	新門司港
18:30	~ 7:00



2016.06.02



新門司港



2016.06.02



松本清張記念館
 小倉城
 小倉城庭園
 3施設共通入場券
 一般 700円



小倉

2016.06.03

小倉城

小倉城

慶長7年(1602)細川忠興公が築城した名城、小倉城。当時は「唐造り」とよばれ、全国唯一の珍しいものでした。現在の城は、昭和34年に在りし日の名城を再建したものです。

小倉城庭園 愛称 小笠原会館

小倉城主であった小笠原氏の歴史性を踏まえ、その下屋敷跡に江戸期の大名屋敷を再現するとともに、小笠原流礼法を始めとする礼法の歴史などを紹介。また、生活文化に密着したテーマで、年4回の企画展示も行っています。



松本清張記念館

社会派推理小説をはじめ、様々なジャンルにわたって活動を続けた北九州市出身の作家、松本清張。その偉大な業績を称え、氏の創作活動をビジュアルな手法で展示・紹介します。

小倉城庭園

愛称 小笠原会館

松本清張記念館



新日鉄住金 小倉製鉄所



2016.06.03





2016.06.03 新日鉄住金 小倉製鉄所

小倉：製鉄所・小倉城・庭園・松本清張記念館

2016.06.03

阪九フェリー・神戸～北九州(新門司港)は初めて。船の甲板上部から見る新門司港および周辺の景色に見とれていたら着岸していた 7:00。すぐ、送迎バスで小倉駅まで、近いのかと思っていたが結構時間を要した。30分くらいはあったと思う。北口、新幹線側につきそこで下車。あらかじめ見物(散策)コースは決めていた。①新日鉄住金小倉製鉄所②小倉城と庭園③小倉市内を 3～4時間かけて。製鉄所は外側から眺めるだけで中には入れるわけではない。やはり今でも鉄鋼マンの端くれなのかここまで来れば是非この雄姿はみてみたいと思った。鉄大時代の友人もここで活躍していたことなどを考えると自分でさえ特別の感じを覚えた。小倉城、庭園ともきれいで印象的だった。私好みのスポットである。天気も上々素晴らしい写真が撮れた。次ぎに行ったのが松本清張記念館。明治の後半～平成初期までの種々の記録がぎっしりつまった資料館で歴史小説、現代小説、推理小説、ノンフィクション・・・等々おびただしい小説、著書のかずかずにはびっくりした。人間こんなにもすごいことがなぜできるのだろうか？天才とはこのような人だ。そんな感じをおぼえた。たっぷり時間があり町中を少しぶらぶらした。モノレールも敷設され、大きな街になっているようだ。



2016.06.03



小倉城





2016.06.03



小倉城





小倉城



2016.06.03



大名籠 乗りました

北九州市立 小倉城庭園

2016.06.03



小倉城庭園





小倉城庭園

2016.06.03



小倉城庭園とは

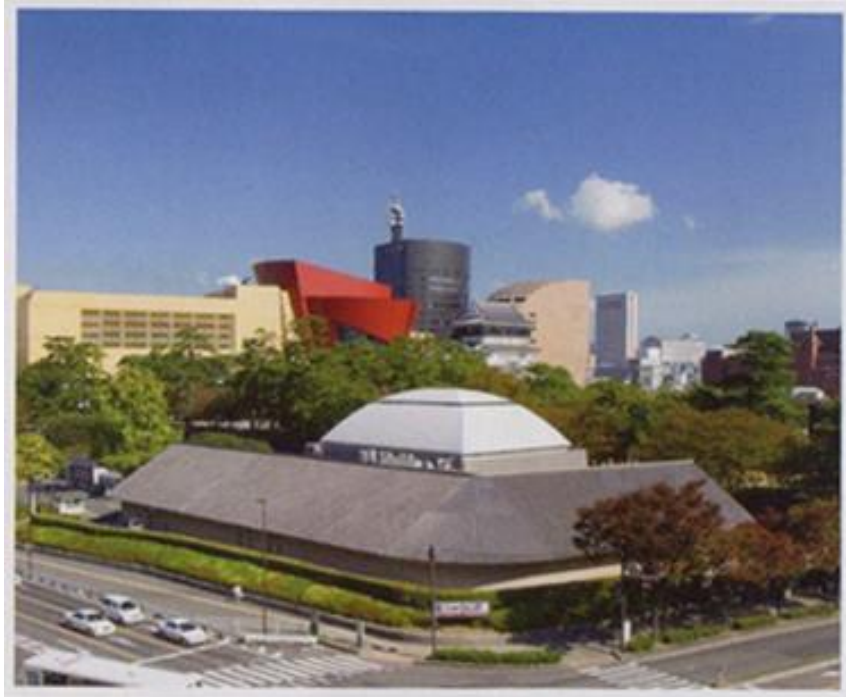
About the
关于小倉城

小倉城主の下屋敷（したやしき）跡に、江戸時代の大名屋敷を再現した施設です。下屋敷とは、城主がお茶や能を楽しんだり、また客を迎える接待所のような場として使われていました。

今日の小倉城は、細川氏によって築かれましたが、その30年後には小笠原氏に交代し、幕末まで小笠原氏の時代が続きました。小笠原氏はもともと信州が本拠地でしたが、一族が各地に広まり、小倉・小笠原家はその本家にあたる総領家とよばれていました。礼法や流鏑馬（やぶさめ）で知られる小笠原宗家も、古くはその一族でした。小倉城庭園は、このような歴史をふまえ、「伝統的な生活文化の継承の拠点」、「ゆかりのある礼法の思いやりやもてなしの心を次世代に継承する施設」として、平成10年に誕生しました。

伝統的な建築物を再現した書院、茶の湯やお香などが体験できる体験ゾーン、さまざまな企画展や礼法に関する常設展示が見られる展示ゾーン、池泉回遊式（ちせんかいゆうしき）の庭園があり、日本の伝統文化を気軽に体験したり、四季折々の自然を楽しむことができます。





松本清張記念館

MATSUMOTO SEICHO MEMORIAL MUSEUM



2016.06.03



松本清張とその時代



書庫



応接室



自宅 東京井の頭公園近く



書斎



北九州市立
松本清張記念館
MATSUMOTO SEICHO MEMORIAL MUSEUM
1992

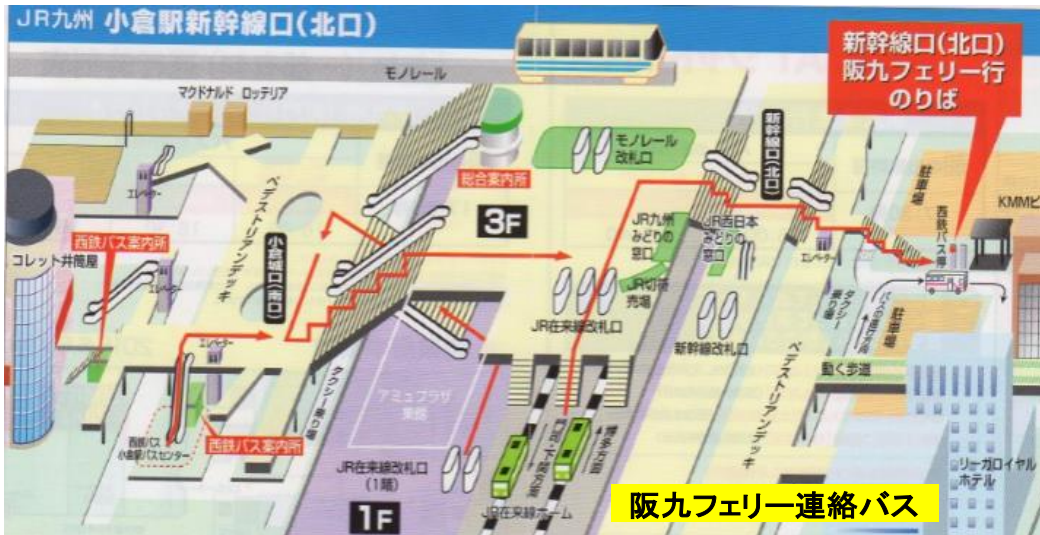


小倉駅(北口)

2016.06.03



八坂神社



小倉駅



小倉の街



2016.06.03



小倉の街

ここから

博多

特別展
始皇帝と
The Great Terracotta Army of
China's First Emperor
大兵馬俑



2016.06.03

大分工業高校

サンパレスホテル

同窓会

大濠公園

大濠公園・日本庭園

福岡城跡・鴻臚館



大兵馬俑

始皇帝と

The Great Terracotta Army of China's First Emperor

永遠なる世界が今、ここに。
行こう、九博へ！

特別展

2016.06.04

2016年
3月15日(火) - 6月12日(日)

九州国立博物館 3階特別展示室

■開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休館日：毎週月曜日(ただし、3月21日(月)、5月2日(月)は開館。3月22日(火)は休館)

KYUSHU NATIONAL MUSEUM 大宰府天満
九州国立博物館

福岡県大宰府市石坂4-7-2 <http://www.kyuhm.jp>
NTTホールダイヤル 050-5542-8600 (午前8時～午後10時)

Ⅲ-1 小さな兵馬俑

86	騎馬俑	1軀 陶製、彩色	戦国時代・前4～前3世紀 咸陽市塔児坡28057号墓出土	咸陽市文物考古研究所
87	侍女俑	1軀 陶製、彩色	戦国～秦時代・前3世紀 西安市長安区茅坡村郵電学院123号墓出	西安市文物保護考古研究院
88	侍従俑	1軀 陶製、彩色	戦国～秦時代・前3世紀 西安市長安区茅坡村郵電学院123号墓出	西安市文物保護考古研究院
89	跏坐俑	1軀 陶製、彩色	戦国～秦時代・前3世紀 西安市長安区茅坡村郵電学院123号墓出	西安市文物保護考古研究院
90	騎馬俑	1軀 陶製、彩色	戦国～秦時代・前3世紀 西安市長安区茅坡村郵電学院123号墓出	西安市文物保護考古研究院
91	馬	1軀 陶製、彩色	戦国～秦時代・前3世紀 西安市長安区茅坡村郵電学院123号墓出	西安市文物保護考古研究院
92	穀倉	1個 陶製	春秋時代・前7～前6世紀 咸陽市任家溝108号墓出土	咸陽市文物保護中心
93	穀倉	1個 陶製	春秋時代・前7～前6世紀 咸陽市任家溝179号墓出土	咸陽市文物保護中心
94	穀倉	1個 陶製、彩色	戦国～秦時代・前3世紀 西安市雁塔区潘家荘世家星城185号墓出	西安博物院
95	竈	1組 陶製	戦国～秦時代・前3世紀 西安市長安区茅坡村郵電学院124号墓出	西安博物院

Ⅲ-2 兵馬俑—「永遠」を守る軍団

96	将軍俑	1軀 陶製	秦時代・前3世紀 西安市臨潼区秦始皇帝陵1号兵馬俑坑出土	秦始皇帝陵博物院
97	軍吏俑	1軀 陶製	秦時代・前3世紀 西安市臨潼区秦始皇帝陵1号兵馬俑坑出土	秦始皇帝陵博物院
98	歩兵俑	1軀 陶製	秦時代・前3世紀 西安市臨潼区秦始皇帝陵1号兵馬俑坑出土	秦始皇帝陵博物院
99	立射俑	1軀 陶製	秦時代・前3世紀 西安市臨潼区秦始皇帝陵2号兵馬俑坑出土	秦始皇帝陵博物院
100	跪射俑	1軀 陶製	秦時代・前3世紀 西安市臨潼区秦始皇帝陵2号兵馬俑坑出土	秦始皇帝陵博物院
101-1	騎兵俑	1組(軍馬と) 陶製	秦時代・前3世紀 西安市臨潼区秦始皇帝陵2号兵馬俑坑出土	秦始皇帝陵博物院
101-2	軍馬	1組(騎兵俑と) 陶製	秦時代・前3世紀 西安市臨潼区秦始皇帝陵2号兵馬俑坑出土	秦始皇帝陵博物院



特別展
始皇帝と
*The Great Terracotta Army of
China's First Emperor*
大兵馬俑

2016.06.04

2016年3月15日(火)―6月12日(日)
九州国立博物館 3階特別展示室



大濠公園



大濠公園



2016.06.03





大濠公園

2016.06.03





2016.06.03

大濠公園



大濠公園の沿革と概要

慶長年間、黒田長政が福岡城を築城する時、博多湾の入江であったこの地を外濠として利用、昭和2年ここで開かれた東亜勧業博覧会を機に造園工事を行ない、昭和4年県営大濠公園として開園したものです。大濠公園は福岡市のほぼ中央に位置し、総面積が約40万平方メートルあり、うち約21万平方メートルの池を有した、全国有数の水景公園です。

大濠公園

2016.06.03





大濠公園庭園

2016.06.03





2016.06.03

大濠公園庭園





大濠公園庭園

2016.06.03



福岡城跡・鴻臚館



福岡城跡



2016.06.03

どこに行っても
外国の人が多い
ベトナムとネパールの
研修生とか





鴻臚館(こうろかん)は平安時代に設置された外交および海外交易の施設である。前身として筑紫館や難波館が奈良時代以前から存在した。その名称は北齊からあった九寺のうちの外交施設「鴻臚寺」に由来し、唐の時代にその名称が日本に導入された。「鴻」は大きな鳥の意から転じて大きい意。「臚」は腹の意から転じて伝え告げるの意。「鴻臚」という言葉は外交使節の来訪を告げる声を意味していた。



鴻臚館跡

2016.06.03

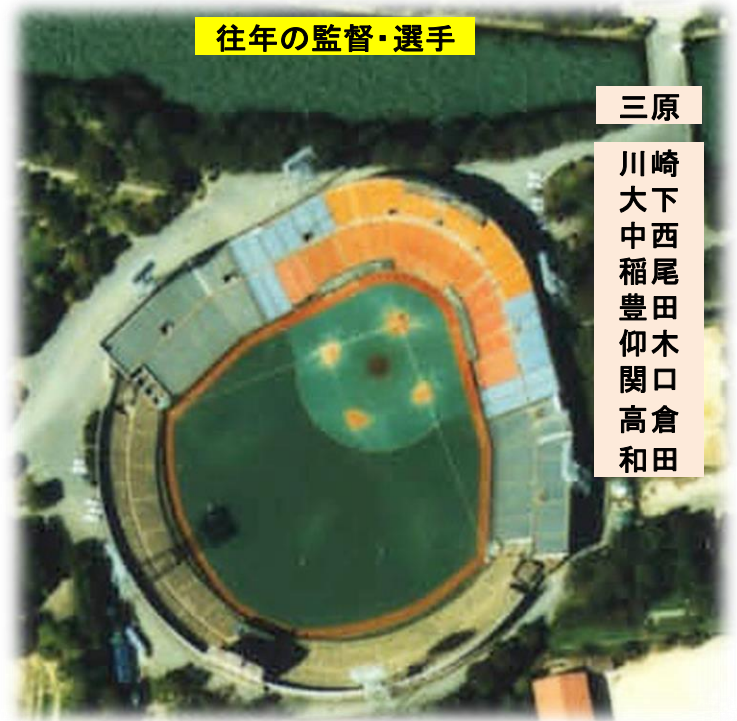




平和台球場跡

平和台球場跡

2016.06.03



往年の監督・選手

三原

川崎
大下
中西
稲尾
豊田
仰木
関口
高倉
和田



福岡城跡 舞鶴公園



2016.06.03

福岡サンパレス

ホテル & ホール



展望レストラン LAPUTA

2次会



2016.06.03



夕海

宴会



朝食



参加者待ち

2016年(平成28年) 6月3~4日

〒812-0021 福岡市博多区築港本町 2-1



幹事: 武田繁文・大久保忠



大宰府天満宮にて



大宰府天満宮にて



宴会スナップ



2016.06.04





サンプレスホテル



展望レストラン 2次会



矢野君と同室だった



2016.06.04



大宰府

かつて「遠の朝廷」と称された「大宰府政庁」が置かれていた大宰府の地は、アジアと日本の文化が交差した場所でした。アジアに開かれた玄関口として、遠くは西アジアやヨーロッパからの文物なども伝えられました。

大宰府は、九州の政治経済・軍事・外交を司る役所として、奈良時代・平安時代において特に大きな役割を果たしました。

太宰府市(だざいふし)は、福岡県の中部に位置する歴史深い観光都市です。太宰府市には「学問の神」と崇められる菅原道真公を祀った太宰府天満宮などの史跡が多く、太宰府天満宮には毎年受験生をはじめとした参拝客が訪れています。

2016.06.04



大宰府天満宮



大宰府天満宮

2016.06.04

